

エネルギーミックス

北海道胆振東部地震で北海道電力苫東厚真発電所が被害を受け、北海道全域が停電した。9月6日未明から停電し、この原稿を書いている9月7日夕方時点で北海道内全体のおよそ半分にあたる140万戸が復旧していない。計画停電を回避するための節電要請もはじまった。オール電化の我が家でもできるだけ電力を使わない生活に転換した。部屋に籠もらずリビングで過ごす、鍋で炊飯する、食洗機を使わないなど。職場内でも話を聞いてみたが、電力復旧の時期に違いがあるため、電気のあるなしで生活の不便さに大きな差が生じており、公平性の観点からも複雑な思いを抱かざるを得ない。

エネルギー基本計画（平成26年閣議決定）では、我が国が抱える構造的課題と東京電力福島第一原子力発電所事故及びその前後から顕在化してきた課題を抽出した上で、これまでの「3E（Energy Security、Economic Efficiency、Environment）」という基本的視点に、安全性の確保「S（Safety）」の重要性、国際的な視点の重要性、経済成長の視点の重要性について加味している。経済産業省は長期エネルギー需給見通しを決定（平成27年7月）し、この中で長期エネルギー需給見通しは、安全性、安定供給、経済効率性、環境適合（3E+S）について達成すべき政策目標を想定した上で施策を講じたときに実現されるであろう将来のエネルギー需給構造の見通しであり、あるべき姿を示すものとしている。また、エネルギーミックスの実現に向けて、徹底した省エネルギー、再生可能エネルギーの最大限の導入と国民負担抑制の両立、火力発電の高効率化、安全性の確認された原発の再稼働などを進めていく、としている。

北海道の再生可能エネルギーは水力、太陽光、風力、バイオマス、地熱などがあり、ポテンシャルは国内最高水準とされている。道内各地で展開されていることは関係各位の積極的な取り組みの大きな成果であり、再生可能エネルギー・蓄電・デジタル制御技術等を組み合わせた脱炭素化エネルギーシステムへの挑戦は今後大いに期待される。さて、エネルギー消費の面ではどうか。自らを1消費者と考えると大変心許ない。当然ながら我が家のエネルギーミックスと省エネについても今一度考えていきたい。

（雪氷チーム上席研究員 高橋 丞二）

* * * *

表紙左上記号 ISSN 2432-2652の説明

国際的なコード番号である ISSN（International Standard Serial Number：国際標準逐次刊行物番号）は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館 ISSN 日本センターから付与されたものです。